

褐色円星病 (Leaf spot)

Paracercospora egenula



淡褐色の初期症状



拡大し周縁が明瞭になった病斑

発生生態

8月頃から秋にかけて、葉に発生します。初めに表面に白色～淡褐色の小班点が生じ、しだいに拡大して3～5mmの周縁がはっきりした円形～楕円形の病斑になります。周縁は褐色～赤褐色、中心部は灰色～灰褐色で、病斑上には暗灰色のカビを生じます。病斑は古くなると、中心部は破れて穴があきます。多発すると病斑が融合して落葉します。

防除対策

肥切れすると多発するので、リン酸やカリ肥料を十分に施用し樹勢を保ちましょう。罹病葉は処分して、翌年の伝染源を少なくします。